

令和6年2月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和6年2月22日(木) 午後1時26分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	齋 藤 純 郎
委 員	小 林 恵 子	委 員	上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹	大 森 亨
学校教育課長	長 和 俊	社会教育課長	石 黒 昭 彦
主任指導主事	関 根 幸 子		

5 本委員会書記

学校教育課 大塚小由紀 他2名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

専決処分の報告について

報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第2号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 1 号 市長部局の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任すること及び教育委員会の事務を補助する職員に補助執行させることに関する協議に対し同意を行うことについて。

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後 1 時 26 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 6 年 1 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員 (小林 恵子)

2 月 3 日に開催された燕市英語スピーチコンテストに出席させていただいた。

5 名の参加者のスピーチを聞き、例年以上のレベルだと感じた。特に最優秀賞を受賞された方のスピーチが素晴らしかった。アンケートにも記載したが、希望する来場者のみでもいいので、可能であればスピーチ原稿をいただけたらよいと思う。

また、ALT の方がウイスコンシン州のシェボイガン市のプレゼンをされたが、英語の発音がとてもきれいで、中学生でも理解できる簡単な英文が使われていたため、とてもわかりやすかった。

今年度入賞した 5 名の方は、親善大使として、シェボイガン市への海外派遣の機会が与えられると思うが、過去に入賞したにも関わらず、コロナ禍のために海外派遣や国内研修等の機会が何も与えられなかった児童生徒はいなかったか伺いたい。

○学校教育課課長補佐 (大塚 小由紀)

コロナ禍において、スピーチコンテストで優秀な成績を収め、親善大使として選ばれた児童生徒については、海外派遣の代替として国内英語研修を実施した。加えて、一人 20 万円の補助金を用意し、自身で海外へ行く機会があれば、市の補助金を利用するよう案内をした。

○委員 (小林 恵子)

2 月 17 日に開催された羽ばたけつばくろ応援事業成果報告会へも出席させていただいた。発表を聞き、「継続は力なり」ということを強く感じた。前年度の活動に工夫を加えることで素晴らしい活動になっていた。

例年取り組まれている小池中学校の生徒会は対象を広げることで更に深化した活動になっていた。今年度初めて発表された活動も魅力的だった。

どの活動もこれからの活躍に期待したい。

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

① はじめに

- 年度末、それぞれの教育現場では、基本的な感染症対策を講じながらも、次年度につながる有意義な「まとめ」を着実に行っていただきたい。

② 1月、2月（1月第3週～2月第1週）の行事から

1) 第2回燕市図書館協議会（301会議室）【1月18日（木）】

今年度の利用状況や事業の実施状況を報告し、来年度の事業計画の方向性について説明した。利用が増えるよう工夫を重ねていきたい。

2) 燕の学校教育・研修成果等報告会（文化会館）【1月19日（金）】

読解力育成プロジェクト、STEAM教育をはじめ各取組の成果報告を行った。成果や課題を整理し、各取組のさらなる充実を目指していきたい。

3) 燕市スポーツ協会優秀競技者等表彰式・祝賀会（文化会館・燕三条ワシントンホテル）【1月20日（土）】

全国大会等で活躍したり、スポーツの普及・向上に貢献されたりした方々に表彰状が贈られた。元気や勇気をいただいた。

4) 分水高校成果発表会（つばめホール）【1月26日（金）】

2学年「総合的な探求の時間」の発表会に参加した。内容もさることながら、生徒の参加態度、とりわけ聞く態度、姿勢、集中力のよさに感嘆した。

5) 燕市部活動の地域移行シンポジウム（つばめホール）【1月28日（日）】

2名の講師の先生のお話をもとに、今年度より段階的に実施している部活動の地域移行について考えた。50名ほどの市民の方々が参加された。

6) 第17回良寛書道展表彰式（吉田産業会館）【1月28日（日）】

特選、準特選に選ばれた計81名の小中学生に表彰状を渡した。展示会場では、大勢の市民の方々が小中学生の力作に見入っていた。

7) 燕市英語スピーチコンテスト（文化会館）【2月3日（土）】

5名の小中学生が出場した。今年のテーマは「私が世界に伝えたいこと」。審査員の方々も仰っていたが、みなさんレベルの高いスピーチだった。

8) 燕市表彰式（吉田産業会館）【2月3日（土）】

多くの献身的な市民の方々のご尽力に支えられ、また元気をいただきながら、わたしたちが安全・安心で心豊かな生活を送ることができている。あらためて深く敬

意と感謝を表したい。

③ 結びに

- 今年度も残すところ一か月あまりとなった。ご勇退される教職員、行政職員の皆様には、これまでのご功績とご尽力に深く敬意と感謝の意を表す。

○委員（斎藤 純郎）

1月28日に開催された燕市部活動の地域移行シンポジウムに出席させていただいた。シンポジウムでは、部活動の地域移行の第一人者である新潟医療福祉大学の西原先生より、「子どもの豊かなスポーツ環境の創造に向けて」と題し、子どもと教職員にとって部活動の見直しは待ったなしの状況であること、指導者確保などの課題について知恵を絞って解決していかなければならないことについてお話しいただいた。また、燕市は、部活動の地域移行について、早期に取組を始め、現状に即して問題や課題を抽出しながら慎重に進めていると評価をいただいた。

さらに、部活動の地域移行の先進校である新潟市立白新中学校の堀先生からは、「生徒が輝くブカツイノベーション」と題し、教職員も生徒も意識を変えて部活動の地域移行に取り組み、生徒自らが放課後をデザインすることで自己肯定感が高まっていくことについてお話をいただいた。

部活動の地域移行は、スポーツ関係者や教職員、保護者など多くの方からの理解や協力がなければ実施することは難しい。時間をかけて着実に取り組んでいかなければいけないと感じた。

また、会場の参加者からは、皆で知恵を出し合いながら燕方式を考えて取り組んでいこう、という意見もあり、大変有意義なシンポジウムだった。今後も市民を対象にして、部活動の地域移行について一緒に考える機会を設けていただきたいと思います。

○委員（中野 信男）

1月28日に開催された良寛書道展表彰式に出席させていただいた。

表彰式のあとに、展示されている書について評価者からの説明があった。その中で、筆使いや字を書く上での様々なポイントを教えていただいたことが印象に残っている。少しのポイントを教わるだけで、きれいな字が書けるような気持ちになり、よい先生に教わることは、文字に限らず、個人の能力の向上につながるなど身をもって感じた。

また、過去に知人が赴任する小学校の文化祭を観に行った際にも、教える人の力量によってクラス全体の作品のレベルがアップすることを感じたことがあった。

教育委員会として、燕市の教育がよいものになるよう取り組んでいただきたいと思います。

4 専決処分の報告について

報告第 2 号 専決処分の報告について

4 件の共催・後援申請について

〈No. 1、3、4 について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 2 について長学校教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 2 号 新規共催・後援申請について

1 件の後援申請について

〈No. 1 について長学校教育課長が説明〉

6 議案

議案第 1 号 市長部局の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任すること及び教育委員会の事務を補助する職員に補助執行させることに関する協議に対し同意を行うことについて新規共催・後援申請について

〈長学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 1 号は原案通り議決された。

7 閉会 午後 1 時 57 分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 6 年 3 月 27 日

教 育 長 小林靖直

教 育 委 員 中野信男

教 育 委 員 秦久美子

教 育 委 員 斎藤純郎

教 育 委 員 小林恵子

教 育 委 員 上田佳澄

会議録作成職員 斎藤千華

